けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
ユニバーサルコミュニケーション分科会

オープンラボセミナー 2024

一般の方もご参加いただけます

事前申込制
定員 100 名
（先着順）

参加費無料

2024. 9. 19 Thu

15:00 ~ 16:35

オンライン開催

日本企業のネットワークセキュリティに関する脆弱性評価結果と対応策を提言する

3つの PKI を活用した信頼できる企業網の作り方 ～オンラインサービス用アバターがなりすまし攻撃の踏み台にならないために～

浅見 徹
けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
ユニバーサルコミュニケーション分科会
遠隔操作型ロボットによる安心安全な
アバター競技会の実装 WG　主査

Google のメール送信者ガイドライン設定が日本のメールセキュリティに与えたインパクト

近藤 大嗣 氏
大阪公立大学大学院情報学研究科
基幹情報学専攻 准教授

参加申込方法

セミナーへの参加には、事前申し込みが必要です。
9 月 13 日 (金) までに以下の URL からお申込み下さい。
https://forms.office.com/r/s7nkMML7YC?origin=lprLink
申込締切後に zoom の招待 URL をメールにてお送りいたします。

主催：けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
ユニバーサルコミュニケーション分科会

後援：大阪公立大学

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
ユニバーサルコミュニケーション分科会

オンライン開催

オープンラボセミナー 2024

2024. 9. 19 Thu
15:00 ~ 16:35

～日本企業のネットワークセキュリティに関する脆弱性評価結果と対応策を提言する～

プログラム

15:00	開会挨拶	吉川 健一（当協議会ユニバーサルコミュニケーション分科会リーダー、BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS 社長）
15:05	講演 1	浅見 徹
15:50	講演 2	近藤 大嗣 氏
16:35	閉会	

※講演時間には質疑応答の時間も含みます。閉会後、アンケートにご協力ください。

講演 1

３つの PKI を活用した信頼できる企業網の作り方
～オンラインサービス用アバターが
なりすまし攻撃の踏み台にならないために～

講師：浅見 徹

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
ユニバーサルコミュニケーション分科会
遠隔操作型ロボットによる安心安全なアバター競技会の実装 WG　主査
特定非営利活動法人　けいはんなアバターチャレンジ　理事長
株式会社国際電気通信基礎技術研究所　代表取締役社長

概要

コロナ以後、アバターを使った接客サービスのオンライン化が進んでいる。昨年秋に、けいはんなアバターチャレンジ・プレ大会２０２３を開催した際、これからのインフォデミック時代にはアバターの操作者を同定することが非常に困難になると感じ、この観点で日本企業のセキュリティについて定量評価を行った。調査は、Mail、Web のアプリを用い、Fortune500 の日本企業、官公庁、セキュリティベンダの安全度を定量的に評価し、業界単位での実装水準を比較した。この結果、TLS 実装に問題がある企業が多いこと、また、なりすまし攻撃の踏み台になることを避けるための DNSSEC の導入は進んでいないことなど、企業網セキュリティの低さを実感した。企業網の管理のような非競争分野における企業間連携の大事さを訴えたい。

プロフィール

1974 年京都大学工学部電子工学科卒業、1976 年同大大学院修士課程修了後、国際電信電話株式会社 (現 KDDI) に入社。同研究所において UNIX 通信（JUNET 国際ゲートウェイシステム (1982-1994))、ネットワーク障害診断、xDSL の研究開発 (伊那 xDSL 利用実験 (1997-1998)) 等に従事。博士（情報理工学）。2000 年㈱ KDDI 研究所取締役副所長、2001 年㈱ KDDI 研究所代表取締役所長。2005 年㈱ KDDI 研究所代表取締役副会長。2006 年東京大学大学院情報理工学系研究科教授（電子情報学専攻）、2017 年株式会社国際電気通信基礎技術研究所代表取締役社長。現在に至る。東京大学名誉教授。平成９年度前島賞。平成 30 年度志田林三郎賞。電子情報通信学会フェロー。

講演 2

Google のメール送信者ガイドライン設定が
日本のメールセキュリティに与えたインパクト

講師：近藤 大嗣 氏

大阪公立大学大学院情報学研究科 基幹情報学専攻 准教授

概要

Google は 2023 年 10 月 3 日、Gmail アドレスに対する迷惑メールを排除するため、新たなメール送信者ガイドラインを設定した。このガイドライン中には、SPF、DKIM、DMARC のようなメール送信者認証の有効化等に関する要件が含まれている。多くの一般メールユーザが Gmail アドレスを利用していることを考慮すると、メール送信者は確実にそのようなユーザに対してメールを送信するために、このガイドラインへの対応を行う必要がある。この講演では、Google のような巨大メール事業者が設定するメール送信者ガイドラインが日本のメールセキュリティに与える影響について調査した結果を報告する。

プロフィール

2013 年大阪大学工学部電子情報工学科卒業．2015 年東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻修士課程修了．2018 年ロレーヌ大学 École doctorale IAEM 修了．Doctorat en informatique．2019 年大阪府立大学助教．2022 年大阪公立大学助教．2024 年大阪公立大学准教授．ネットワークセキュリティや次世代ネットワーク技術の研究に従事．電子情報通信学会，IEEE 各会員．

■ お問い合わせ：　けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会事務局
E-mail: kyogikai-info@khn.nict.go.jp　　Tel:0774-98-6806